

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 崔 元 根  
(コード番号 6619 東証プライム)  
問合せ先 取締役 大内 秀雄  
(<https://w-scope.co.jp/ir/contact.html>)

## 通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年11月26日に公表しました連結業績予想の修正に関するお知らせと本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想と実績値との差異

通期連結業績予想と実績値の差異 (2024年2月1日～2025年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2024年11月26日発表)	百万円 31,000	百万円 △850	百万円 △1,800	百万円 △2,300	円 銭 △41.88
実績値(B)	31,047	△1,008	△3,239	△3,713	△67.60
増減額(B-A)	47	△158	△1,439	△1,413	
増減率(%)	0.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2024年1月期)	48,043	3,865	4,600	939	17.07

#### 2. 修正の理由

2025年1月期通期の連結業績につきましては、売上高は昨今の欧州EV市場を取り巻く事業環境の停滞等により第3四半期以降に車載用電池向けセパレータ販売の大幅な減少となり、概ね修正計画通りとなりました。イオン交換膜事業、ESS用電池向けセパレータにつきましては、新規契約締結に向け取り組んでいる状況であります。

営業利益につきましては、コスト削減による経営合理化を強く推し進めておりますが、販売量低調による生産数量の減少に伴い機械稼働率の低下等により固定費を賄えず、また一部顧客の事業撤退等による一部モデルの在庫評価損が修正予想よりも増加いたしました。

経常利益につきましては、第3四半期からのWCP持分法適用会社化に伴い、WCPの当期純損失の36.23%（当社及び当社の100%子会社であるW-SCOPE KOREA CO., LTD.のWCP株式所有割合）を取り込んでおります。WCPにつきましては販売価格の下落等による一部モデルの在庫評価損が修正予想よりも増加いたしました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、主に第2四半期までの非支配株主に帰属する中間純利益を反映しております。

#### 【業績予想に関する留意事項】

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上